

鶴ヶ島市地域包括支援センターの事業評価

◆評価時点と評価対象

時点：令和6年4月末時点

年度：令和5年4月1日～令和6年3月31日

◆評価指標

1 組織運営体制等

- (1) 組織運営体制
- (2) 個人情報の保護
- (3) 利用者満足の向上

2 個別業務

- (1) 総合相談支援
- (2) 権利擁護
- (3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援
- (4) 地域ケア会議
- (5) 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援

3 事業間連携（社会保障充実分）

※「地域包括支援センターの事業評価を通じた機能評価について（平成30年7月4日老振発0704第1号厚生労働省老健局振興課長通知 一部改正：令和2年5月29日）」に示された評価指標

【資料】

(1) 市業務チェックシート

(2) 地域包括支援センター業務チェックシート

(3) レーダーチャート及び評価のまとめ

〔参考〕

令和5年度 第2層生活支援コーディネーターの活動報告

※令和5年度第1回鶴ヶ島市第1層生活支援体制推進協議会（令和6年2月2日開催）資料

■2.レーダーチャートについて■

○レーダーチャートに示されている「7項目」の数値は、「1.業務チェックシート」にて入力した評価設問の平均値です。

○例えば、『2 個別業務』の「2-(1) 総合相談支援業務」6の設問に対し、「○」の付いた設問が4か所ある場合は、「2-(1) 総合相談支援」の平均値は $4/6 = 66.7\%$ （小数点2位を四捨五入）となります。

令和6年8月

鶴ヶ島市健康部健康長寿課

(1) 市業務チェックシート

※赤字：昨年からの変更箇所

		該当するものに○	特記事項
1 組織・運営体制等			
(1) 組織運営体制			
1	運営協議会での議論を経て、センターの運営方針を策定し、センターへ伝達しているか。	○	
2	年度ごとのセンターの事業計画の策定に当たり、センターと協議を行っているか。	○	
3	前年度における運営協議会での議論を踏まえ、センターの運営方針、センターへの支援・指導の内容を改善したか。	×	令和5年度の審議会では、センターの運営方針、センターへの支援・指導の内容に関する意見がなかった。
4	市町村とセンターの間の連絡会合を、定期的に開催しているか。	○	
5	センターに対して、担当圏域の現状やニーズの把握に必要な情報を提供しているか。	○	
6	センターに対して、介護保険法施行規則に定める原則基準に基づく3職種の配置を義務付けているか。	○	
7	センターにおいて、3職種(それぞれの職種の準ずる者は含まない)が配置されているか。	×	3職種に準ずる者は、配置している。
8	センターの3職種(準ずる者含む)一人当たり高齢者数(圏域内の高齢者数/センター人員)の状況が1,500人以下であるか。	○	
9	センター職員の資質向上の観点から、センター職員を対象とした研修計画を策定し、年度当初までにセンターに示しているか。	○	研修計画を早めに策定し、年度当初にセンターに周知している。
10	センターに対して、夜間・早朝の窓口(連絡先)の設置を義務付けているか。	○	
11	センターに対して、平日以外の窓口(連絡先)の設置を義務付けているか。	○	
12	市町村の広報紙やホームページなどでセンターの周知を行っているか。	○	
13	介護サービス情報公表システム等において、センターの事業内容・運営状況に関する情報を公表しているか。	○	
平均点数・個数		11	
平均点数・%		84.6%	
(2) 個人情報の保護			
14	個人情報保護に関する市町村の取扱方針をセンターに示しているか。	○	
15	個人情報が漏えいした場合の対応など、センターが行うべき個人情報保護の対応について、センターへ指示しているか。	○	
16	センターからの個人情報漏えい等の報告事案に対し、対応策を指示・助言しているか。	○	
平均点数・個数		3	
平均点数・%		100.0%	
(3) 利用者満足の向上			
17	苦情内容の記録等、苦情対応に関する市町村の方針をセンターに示しているか。	○	
18	センターが受けた介護サービスに関する相談について、センターから市町村に対して報告や協議を受ける仕組みを設けているか。	○	
19	相談者のプライバシーが確保される環境整備に関する市町村の方針をセンターに示しているか。	○	
平均点数・個数		3	
平均点数・%		100.0%	
1 組織運営体制等 計 点数:個数		17	
1 組織運営体制等 計 点数:%		89.5%	

		該当する ものに○	特記事項
2 個別業務			
(1) 総合相談支援業務			
20	市町村レベルの関係団体(民生委員等)の会議に、定期的に参加しているか。	○	
21	センターと協議しつつ、センターにおいて受けた相談事例の終結条件を定めているか。	○	
22	センターにおける相談事例の分類方法を定めているか。	○	
23	1年間におけるセンターの相談件数を把握しているか。	○	
24	センターからの相談事例に関する支援要請に対応したか。	○	
25	センターが対応した家族介護者からの相談について、相談件数・相談内容を把握しているか。	○	
平均点数・個数		6	
平均点数・%		100.0%	
(2) 権利擁護業務			
26	成年後見制度の市町村長申し立てに関する判断基準をセンターと共有しているか。	○	
27	高齢者虐待事例及び高齢者虐待を疑われる事例への対応の流れを整理し、センターと共有しているか。	×	令和5年3月に改正された国の虐待マニュアルの改正を踏まえて、マニュアル(案)を作成し、試行的に運用している。
28	センターまたは市町村が開催する高齢者虐待防止に関する情報共有、議論及び報告等を行う会議において、高齢者虐待事例への対応策を検討しているか。	○	
29	消費生活に関する相談窓口及び警察に対して、センターとの連携についての協力依頼を行っているか。	○	
平均点数・個数		3	
平均点数・%		75.0%	
(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務			
30	日常生活圏域ごとの居宅介護支援事業所のデータを把握し、センターに情報提供しているか。	○	
31	センターと協議の上、センターが開催する介護支援専門員を対象にした研修会・事例検討会等の開催計画を作成しているか。	○	介護支援専門員を対象とした研修会を早めに計画している。
32	介護支援専門員を対象に、包括的・継続的ケアマネジメントを行うための課題や支援などに関するアンケートや意見収集等を行い、センターに情報提供を行っているか。	○	
33	地域の介護支援専門員の実践力向上を図ることなどを目的とした、地域ケア会議や事例検討等を行うことができるように、センター職員を対象とした研修会を開催しているか。	○	
34	介護支援専門員のニーズに基づいて、多様な関係機関・関係者との意見交換の場を設けているか。	○	
35	センターが介護支援専門員から受けた相談事例の内容を整理・分類した上で、経年的に件数を把握しているか。	○	
平均点数・個数		6	
平均点数・%		100.0%	

	該当するものに○	特記事項
(4) 地域ケア会議		
36 地域ケア会議が発揮すべき機能、構成員、スケジュールを盛り込んだ開催計画を策定し、センターに示しているか。	○	
37 地域の医療・介護・福祉等の関係者に、策定した地域ケア会議の開催計画を周知しているか。 (36で「1」(○)の場合のみ回答する欄です。36で「×」の場合は、「×」を選択してください。)	○	
38 センター主催の地域ケア会議の運営方法や、市町村主催の地域ケア会議との連携に関する方針を策定し、センターに対して周知しているか。	○	
39 センター主催の個別事例について検討する地域ケア会議に参加しているか。	○	
40 地域ケア会議において多職種と連携して、自立支援・重度化防止等に資する観点から個別事例の検討を行い、対応策を講じているか。	○	
41 センターと協力し、地域ケア会議における個人情報の取扱方針を定め、センターに示すとともに、市町村が主催する地域ケア会議で対応しているか。	○	
42 地域ケア会議の議事録や検討事項を構成員全員が共有するための仕組みを講じているか。	○	
43 地域ケア会議で検討した個別事例について、その後の変化等をモニタリングするルールや仕組みを構築し、かつ実行しているか。	○	
44 生活援助の訪問回数の多いケアプラン(生活援助中心のケアプラン)の地域ケア会議等での検証について実施体制を確保しているか。	○	
45 センター主催の地域課題に関して検討する地域ケア会議に参加しているか。	○	市・センターが合同で開催している自立支援型地域ケア会議にて、個別ケースの支援方針の検討と併せて、地域課題の抽出に取り組んでいる。
46 センター主催の地域ケア会議で検討された内容を把握しているか。	○	
47 センター主催及び市町村主催も含めた、地域課題を検討する地域ケア会議の検討内容をとりまとめて、住民向けに公表しているか。	×	鶴ヶ島市第1層生活支援体制推進協議会にて情報の共有を図っている。
48 複数の個別事例から地域課題を明らかにし、これを解決するための政策を市町村に提言しているか。	○	地域ケア会議(自立支援型)に市職員が出席し、会議での検討内容を、介護予防事業の企画などに活かしている。
平均点数・個数	12	
平均点数・%	92.3%	
(5) 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援		
49 自立支援・重度化防止等に資するケアマネジメントに関する市町村の基本方針を定め、センターに周知しているか。	○	
50 センター、介護支援専門員、生活支援コーディネーター、協議体に対して、保険給付や介護予防・生活支援サービス事業以外の多様な地域の社会資源に関する情報を提供しているか。	○	
51 利用者のセルフマネジメントを推進するため、介護予防手帳などの支援の手法を定め、センターに示しているか。	×	介護予防手帳などの支援の手法は定めていないが、介護保険の手引きの見直しを行い、市の事業をセンターに示している。
52 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援を委託する際の事業所選定について、公平性・中立性確保のための指針を作成し、センターに明示しているか。	○	
53 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援を委託する際のセンターの関与について、市町村の指針をセンターに対して明示しているか。	○	
54 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援におけるセンターの人員体制と実施件数を把握しているか。	○	
平均点数・個数	5	
平均点数・%	83.3%	
2 個別業務 計 点数:個数	32	
2 個別業務 計 点数:%	91.4%	

		該当する ものに○	特記事項
3 事業間連携(社会保障充実分事業)			
55	医療関係者とセンターの合同の事例検討会の開催または開催支援を行っているか。	×	在宅医療・介護連携推進事業にて開催する研修について、令和5年度中には事例検討は実施しなかった。
56	医療関係者とセンターの合同の講演会・勉強会等の開催または開催支援を行っているか。	○	
57	在宅医療・介護連携推進事業における相談窓口とセンターの連携・調整が図られるよう、連携会議の開催や情報共有の仕組みづくりなどの支援を行っているか。	○	
58	認知症初期集中支援チームとセンターの連携・調整が図られるよう、連携会議の開催や情報共有の仕組みづくりなどの支援を行っているか。	○	
59	生活支援コーディネーターや協議体とセンターの連携・調整が図られるよう、連携会議の開催や情報共有の仕組みづくりなどの支援を行っているか。	○	
3 事業間連携 計 平均点数・個数		4	
3 事業間連携 計 平均点数・%		80.0%	

(2) 地域包括支援センター業務チェックシート

※赤字：昨年からの変更箇所

センター項目		かんえつ	いちば んぼし	べんぎん	いきいき	特記事項
1 組織運営体制等						
(1) 組織運営体制						
1	市町村が定める運営方針の内容に沿って、センターの事業計画を策定しているか。	○	○	○	○	
2	事業計画の策定に当たって、市町村と協議し、市町村から受けた指摘がある場合、これを反映しているか。	○	○	○	○	
3	市町村の支援・指導の内容により、逐次、センターの業務改善が図られているか。	○	○	○	○	
4	市町村が設置する定期的な連絡会合に、毎回、出席しているか。	○	○	○	○	
5	市町村から、担当圏域の現状やニーズの把握に必要な情報の提供を受けているか。	○	○	○	○	
6	把握した担当圏域の現状やニーズに基づき、センターの取組における重点項目を設定しているか。	○	○	○	○	
7	3職種（それぞれの職種の準ずる者は含まない）について、必要数を配置しているか。	×	○	×	×	3職種に準ずる者は、配置している。
8	市町村から、年度当初までに、センター職員を対象とした研修計画が示されているか。	○	○	○	○	研修計画を市から年度当初にいただき、事業計画に盛り込んだ。
9	センターに在籍する全ての職員に対して、センターまたは受託法人が、職場での仕事を離れての研修(Off-JT)を実施しているか。	○	○	○	○	
10	夜間・早朝の窓口(連絡先)を設置し、窓口を住民にパンフレットやホームページ等で周知しているか。	×	×	×	×	窓口(連絡先)についてパンフレットやホームページ等で周知を図ることはしていないが、緊急時に連絡が取れるよう体制は整備している。
11	平日以外の窓口(連絡先)を設置し、窓口を住民にパンフレットやホームページ等で周知しているか。	○	○	○	○	
12	パンフレットの配布など、センターの周知を行っているか。	○	○	○	○	
平均点数・個数		10	11	10	10	
平均点数・%		83.3%	91.7%	83.3%	83.3%	
(2) 個人情報の管理						
13	個人情報保護に関する市町村の取扱方針に従って、センターが個人情報保護マニュアル(個人情報保護方針)を整備しているか。	○	○	○	○	
14	個人情報が漏えいした場合の対応など、市町村から指示のあった個人情報保護のための対応を、各職員へ周知しているか。	○	○	○	○	
15	個人情報保護に関する責任者(常勤)を配置しているか。	○	○	○	○	
16	個人情報の持出・開示時は、管理簿への記載と確認を行っているか。	×	×	×	×	管理簿の整備はできていないが、個人情報の持ち出しについては、確認を行っている。
平均点数・個数		3	3	3	3	
平均点数・%		75.0%	75.0%	75.0%	75.0%	

	センター項目	かんえつ	いちば んぼし	べんぎん	いきいき	特記事項
	(3) 利用者満足の向上					
	17 市町村の方針に沿って、苦情対応体制を整備し、苦情内容や苦情への対応策について記録しているか。	○	○	○	○	
	18 センターが受けた介護サービスに関する相談について、市町村に対して報告や協議を行う仕組みが設けられているか。	○	○	○	○	
	19 相談者のプライバシー確保に関する市町村の方針に沿い、プライバシーが確保される環境を整備しているか。	○	○	○	○	
	平均点数・個数	3	3	3	3	
	平均点数・%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
	1計 平均点数:個数	16	17	16	16	
	1計 平均点数:%	84.2%	89.5%	84.2%	84.2%	

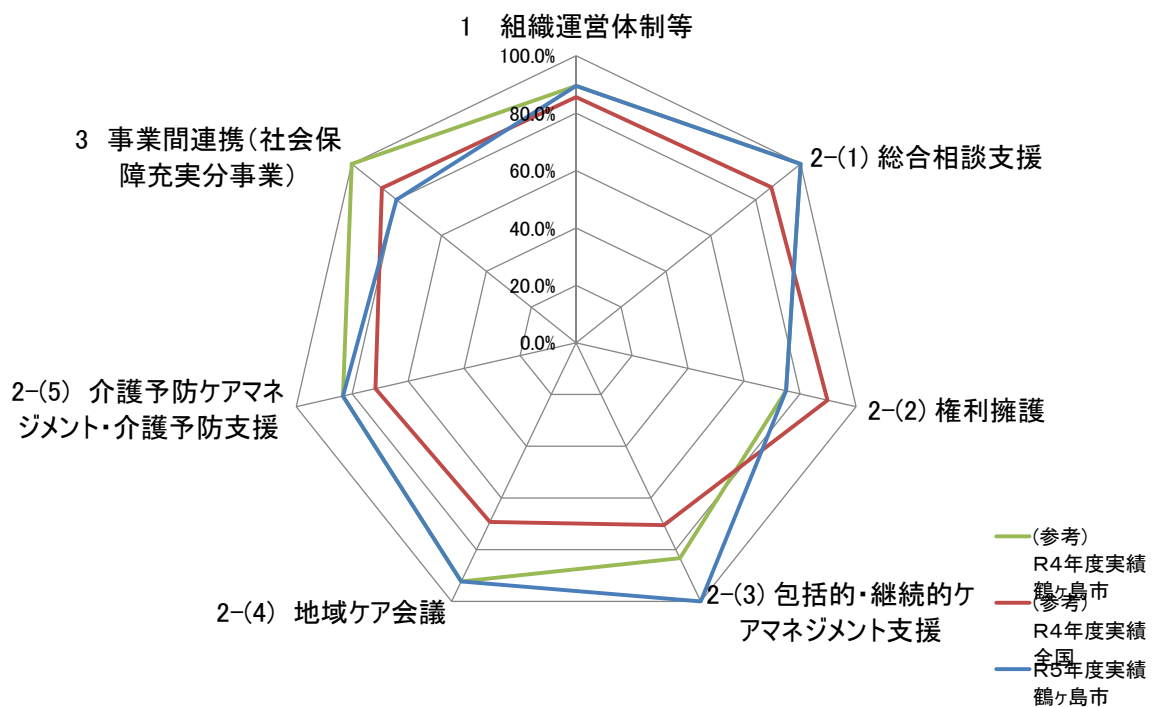
	センター項目	かんえつ	いちば んぼし	べんぎん	いきいき	特記事項
2	個別業務					
(1)	総合相談支援					
20	地域における関係機関・関係者のネットワークについて、構成員・連絡先・特性等に関する情報をマップまたはリストで管理しているか。	○	○	○	○	
21	相談事例の終結条件を、市町村と共有しているか。	○	○	○	○	
22	相談事例の分類方法を、市町村と共有しているか。	○	○	○	○	
23	1年間の相談件数を市町村に報告しているか。	○	○	○	○	
24	相談事例解決のために、市町村への支援を要請し、その要請に対し市町村からの支援があったか。	○	○	○	○	
25	家族介護者からの相談について、相談件数や相談内容を記録等に残して取りまとめているか。	○	○	○	○	
平均点数・個数		6	6	6	6	
平均点数・%		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
(2)	権利擁護					
26	成年後見制度の市町村長申し立てに関する判断基準が、市町村から共有されているか。	○	○	○	○	
27	高齢者虐待事例及び高齢者虐待を疑われる事例への対応の流れについて、市町村と共有しているか。	×	×	×	×	
28	センターまたは市町村が開催する高齢者虐待防止に関する情報共有、議論及び報告等を行う会議において、高齢者虐待事例への対応策を検討しているか。	○	○	○	○	
29	消費者被害に関し、センターが受けた相談内容について、消費生活に関する相談窓口または警察等と連携の上、対応しているか。	○	○	○	○	
30	消費者被害に関する情報を、民生委員・介護支援専門員・ホームヘルパー等へ情報提供する取組を行っているか。	○	○	○	○	
平均点数・個数		4	4	4	4	
平均点数・%		80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	
(3)	包括的・継続的ケアマネジメント支援					
31	担当圏域における居宅介護支援事業所のデータを把握しているか。	○	○	○	○	
32	介護支援専門員を対象にした研修会・事例検討会等の開催計画を策定し、年度当初に、指定居宅介護支援事業所に示しているか。	○	○	○	○	介護支援専門員を対象とした研修会を早めに計画し、周知している。
33	介護支援専門員に対するアンケート・意見収集等についての市町村からの情報提供や、市町村による研修会の内容等を踏まえ、地域の介護支援専門員のニーズや課題に基づく事例検討会や、個別事例を検討する地域ケア会議等を開催しているか。	○	○	○	○	
34	担当圏域の介護支援専門員のニーズに基づいて、多様な関係機関・関係者との意見交換の場を設けているか。	○	○	○	○	
35	介護支援専門員が円滑に業務を行うことができるよう、地域住民に対して介護予防・自立支援に関する意識の共有を図るための出前講座等を開催しているか。	○	○	○	○	
36	介護支援専門員から受けた相談事例の内容を整理・分類した上で、経年的に件数を把握しているか。	○	○	○	○	
平均点数・個数		6	6	6	6	
平均点数・%		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

	センター項目	かんえつ	いちばんぼし	べんぎん	いきいき	特記事項
(4)	地域ケア会議					
37	地域ケア会議が発揮すべき機能、構成員、スケジュール等を盛り込んだ開催計画が市町村から示されているか。	○	○	○	○	
38	センター主催の地域ケア会議の運営方針を、センター職員・会議参加者・地域の関係機関に対して周知しているか。	○	○	○	○	
39	センター主催の地域ケア会議において、個別事例について検討しているか。	○	○	○	○	
40	センター主催の地域ケア会議において、多職種と連携して、自立支援・重度化防止等に資する観点から個別事例の検討を行い、対応策を講じているか。	○	○	○	○	
41	市町村から示された地域ケア会議における個人情報の取扱方針に基づき、センターが主催する地域ケア会議で対応しているか。	○	○	○	○	
42	センター主催の地域ケア会議において、議事録や検討事項をまとめ、参加者間で共有しているか。	○	○	○	○	
43	地域ケア会議で検討した個別事例について、その後の変化等をモニタリングしているか。	○	○	○	○	
44	センター主催の地域ケア会議における検討事項をまとめたものを、市町村に報告しているか。	○	○	○	○	
平均点数・個数		8	8	8	8	
平均点数・%		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
(5)	介護予防ケアマネジメント・指定介護予防支援					
45	自立支援・重度化防止等に資するケアマネジメントに関し、市町村から示された基本方針を、センター職員及び委託先の居宅介護支援事業所に周知しているか。	○	○	○	○	
46	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援のケアプランにおいて、保険給付や介護予防・生活支援サービス事業以外の多様な地域の社会資源を位置づけたことがあるか。	○	○	○	○	
47	利用者のセルフマネジメントを推進するため、市町村から示された支援の手法を活用しているか。	×	×	×	×	市は、セルフマネジメントの手法は示していないが、地域包括支援センターは、介護保険の手引きを利用し、介護予防や総合事業を周知している。
48	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援を委託する際の事業所選定の公平性・中立性確保のための指針が市町村から示されているか。	○	○	○	○	
49	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援を委託した場合は、台帳への記録及び進行管理を行っているか。	○	○	○	○	
平均点数・%		4	4	4	4	
		80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	
2計 平均点数:個数		28	28	28	28	
2計 点数:%		90.3%	90.3%	90.3%	90.3%	
3	事業間連携(社会保障充実分事業)					
50	医療関係者と合同の事例検討会に参加しているか。	○	○	×	○	在宅医療・介護連携推進事業にて開催する研修について、令和5年度中には事例検討は実施しなかった。
51	医療関係者と合同の講演会・勉強会等に参加しているか。	○	○	○	○	
52	在宅医療・介護連携推進事業における相談窓口に対し、相談を行っているか。	○	○	○	○	
53	認知症初期集中支援チームと訪問支援対象者に関する情報共有を図っているか。	○	○	○	○	
54	生活支援コーディネーター・協議体と地域における高齢者のニーズや社会資源について協議をしているか。	○	○	○	○	
3計 平均点数:個数		5	5	4	5	
3計 点数:%		100.0%	100.0%	80.0%	100.0%	

(3) レーダーチャート

鶴ヶ島市

	評価指標	R 5 年度実績 鶴ヶ島市	(参考) R 4 年度実績 全国	(参考) R 4 年度実績 鶴ヶ島市
1	1 組織運営体制等	89.5%	85.6%	89.5%
2	2-(1) 総合相談支援	100.0%	86.9%	100.0%
3	2-(2) 権利擁護	75.0%	89.8%	75.0%
4	2-(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援	100.0%	70.5%	83.3%
5	2-(4) 地域ケア会議	92.3%	69.3%	92.3%
6	2-(5) 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援	83.3%	71.7%	83.3%
7	3 事業間連携（社会保障充実分事業）	80.0%	86.5%	100.0%

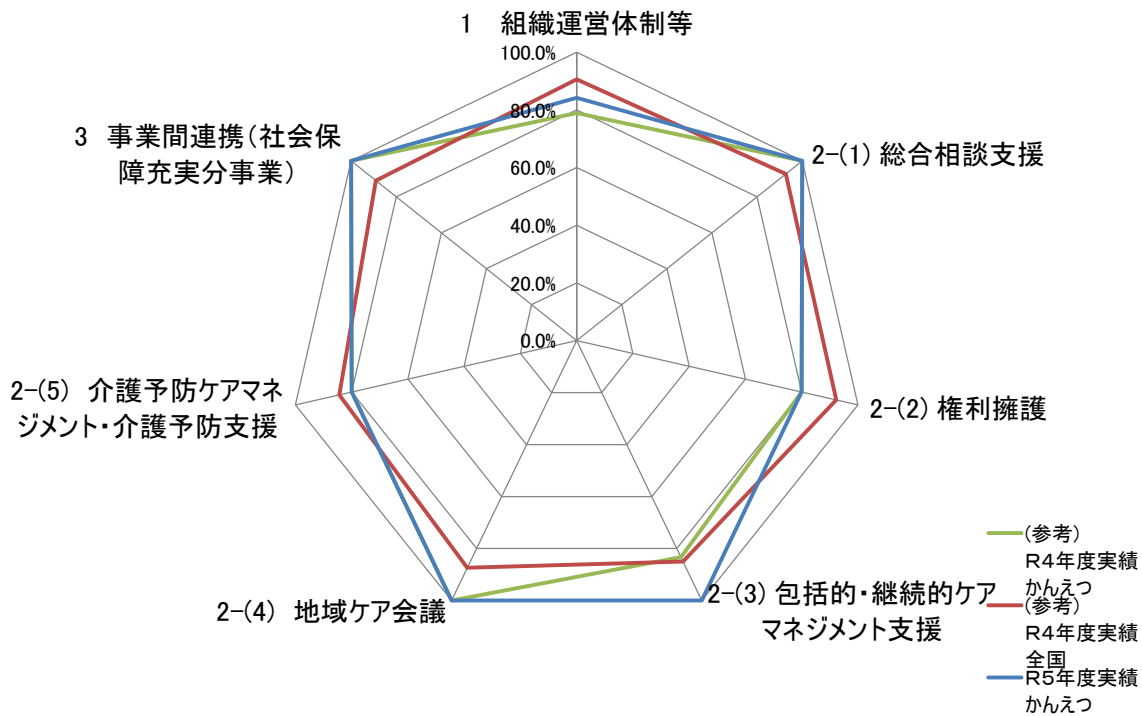


【評価まとめ】

- ・「権利擁護」に関しては、「高齢者虐待対応マニュアル」を完成し、市とセンターとの連携強化を目指す必要がある。
- ・「介護予防ケアマネジメント・介護予防支援」に関しては、利用者のセルフマネジメントを推進するための支援の手法を検討する必要がある。
- ・事業間連携（社会保障充実分事業）については、在宅医療・介護連携事業の研修の内容に事例検討が含まれなかったことで、令和4年度と比較して評価ポイントが下がっている。

鶴ヶ島市地域包括支援センターかんえつ

	評価指標	R 5 年度実績 かんえつ	(参考) R 4 年度実績 全国	(参考) R 4 年度実績 かんえつ
1	1 組織運営体制等	84.2%	90.6%	78.9%
2	2-(1) 総合相談支援	100.0%	92.7%	100.0%
3	2-(2) 権利擁護	80.0%	92.3%	80.0%
4	2-(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援	100.0%	85.0%	83.3%
5	2-(4) 地域ケア会議	100.0%	87.4%	100.0%
6	2-(5) 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援	80.0%	84.4%	80.0%
7	3 事業間連携（社会保障充実分事業）	100.0%	89.0%	100.0%

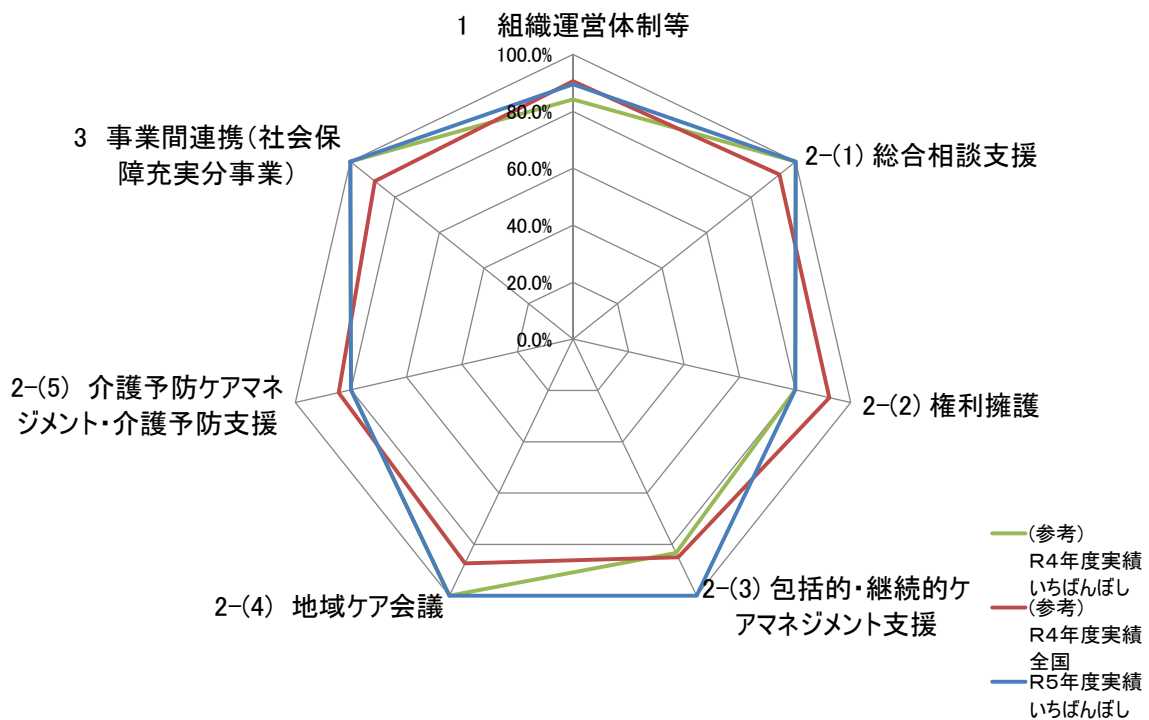


【評価まとめ】

- ・平成25年度に設置した地域包括支援センターである。
- ・令和5年度は、評価指標のうちでは令和4年度を上回る水準で事業を実施できており、安定したセンター運営を継続することができている。

鶴ヶ島市地域包括支援センターいちばんぼし

	評価指標	R 5 年度実績 いちばんぼし	(参考) R 4 年度実績 全国	(参考) R 4 年度実績 いちばんぼし
1	1 組織運営体制等	89.5%	90.6%	84.2%
2	2-(1) 総合相談支援	100.0%	92.7%	100.0%
3	2-(2) 権利擁護	80.0%	92.3%	80.0%
4	2-(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援	100.0%	85.0%	83.3%
5	2-(4) 地域ケア会議	100.0%	87.4%	100.0%
6	2-(5) 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援	80.0%	84.4%	80.0%
7	3 事業間連携（社会保障充実分事業）	100.0%	89.0%	100.0%

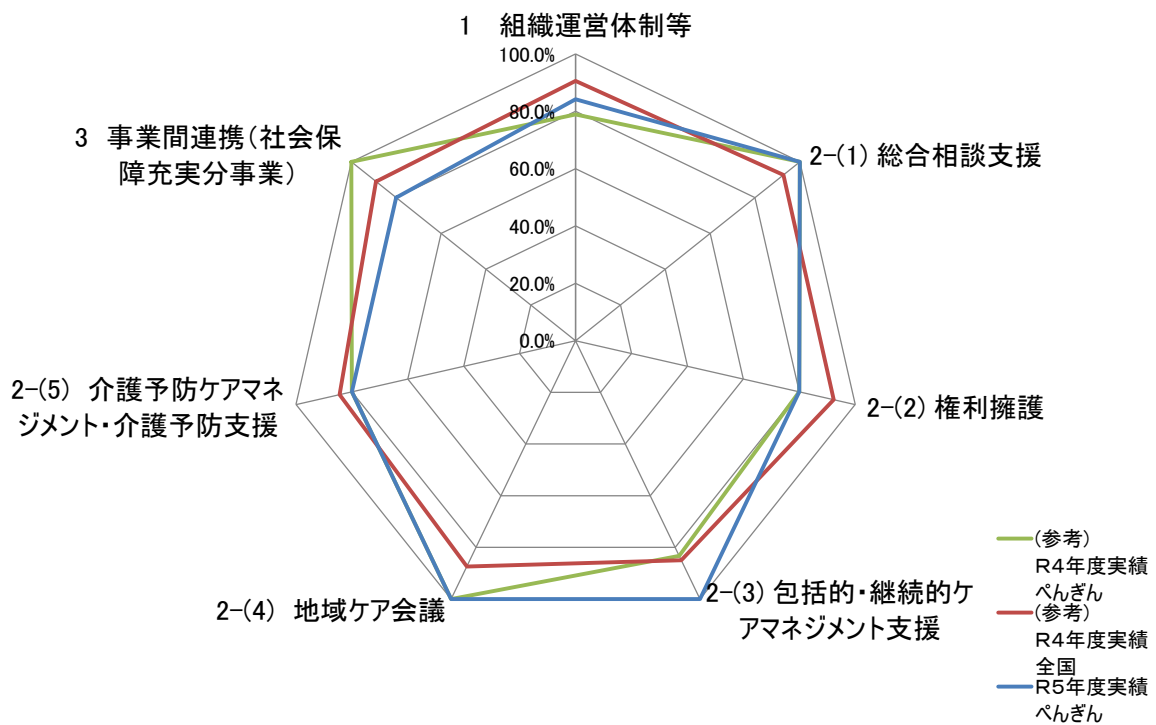


【評価まとめ】

- ・平成30年度に設置した地域包括支援センターである。
- ・令和5年度は、評価指標のうちでは令和4年度を上回る水準で事業を実施できており、安定したセンター運営を継続することができている。

鶴ヶ島市地域包括支援センターぺんぎん

	評価指標	R 5 年度実績 ぺんぎん	(参考) R 4 年度実績 全国	(参考) R 4 年度実績 ぺんぎん
1	1 組織運営体制等	84.2%	90.6%	78.9%
2	2-(1) 総合相談支援	100.0%	92.7%	100.0%
3	2-(2) 権利擁護	80.0%	92.3%	80.0%
4	2-(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援	100.0%	85.0%	83.3%
5	2-(4) 地域ケア会議	100.0%	87.4%	100.0%
6	2-(5) 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援	80.0%	84.4%	80.0%
7	3 事業間連携（社会保障充実分事業）	80.0%	89.0%	100.0%

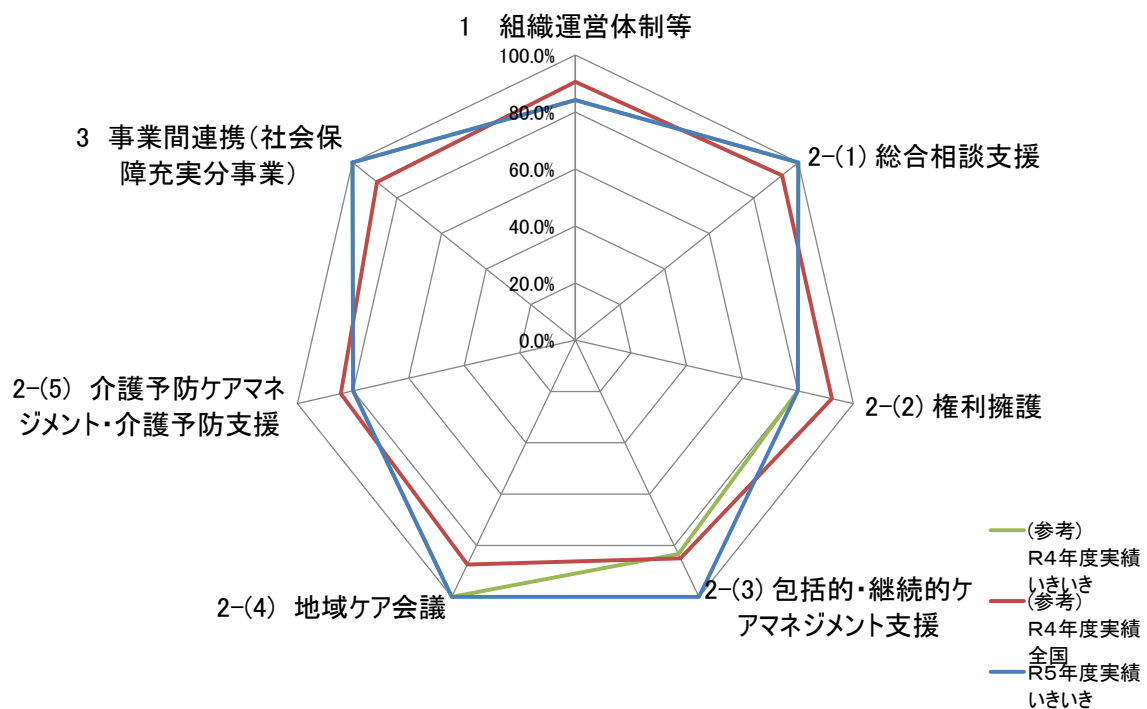


【評価まとめ】

- ・平成18年度の地域包括支援センター発足当時から設置している。
- ・令和5年度は、評価指標のうちでは複数の項目で令和4年度を上回る水準で事業を実施できており、安定したセンター運営を継続することができている。

鶴ヶ島市地域包括支援センターいきいき

	評価指標	R 5 年度実績 いきいき	(参考) R 4 年度実績 全国	(参考) R 4 年度実績 いきいき
1	1 組織運営体制等	84.2%	90.6%	84.2%
2	2-(1) 総合相談支援	100.0%	92.7%	100.0%
3	2-(2) 権利擁護	80.0%	92.3%	80.0%
4	2-(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援	100.0%	85.0%	83.3%
5	2-(4) 地域ケア会議	100.0%	87.4%	100.0%
6	2-(5) 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援	80.0%	84.4%	80.0%
7	3 事業間連携（社会保障充実分事業）	100.0%	89.0%	100.0%



【評価まとめ】

- ・令和元年度より直営センターを委託化した。
- ・令和5年度は、評価指標のうえでは令和4年度と同じ水準で事業を実施できており、安定したセンター運営を継続することができている。

令和5年度 第2層生活支援コーディネーターの活動報告（日常生活圏域別）

（高齢者人口：5,395人 高齢化率：27.3%）

- ・地域住民の集いの場として「オレンジカフェにこまるかんえつ」を通年開催。
- ・地域住民の方へ情報発信と啓蒙活動のためかんえつ便りを1回/年発行。
- ・地域住民との交流、地域活動の把握、地域包括支援センターの周知、啓蒙活動を踏まえ北地域支え合い協議会定例幹事会と西部地域支え合い協議会幹事会事務局会議に毎月参加。
- ・毎月すねおり地域支え合い協議会主催の朝市に参加し地域住民が安心して生活ができるよう青空相談会を実施。各福祉用具業者を調整し福祉用具展示を毎月実施。地域に活用できる社会資源の紹介として在宅診療所、老人保健施設、特別養護老人ホーム、小規模多機能型居宅介護、居宅介護支援事業所等各専門機関及び職員紹介等周知活動を実施。
- ・担当圏域の各地域支え合い協議会と協働し地域包括支援センター、医師会、歯科医師会、薬剤師会、柔道整復師会と連携して健康イベントを開催、また講演会にて講師紹介を行い地域住民の健康寿命推進活動を実施。
- ・福祉教育の一環として中学生に認知症サポーター養成講座開催。
- ・地域住民の方や家族介護者の方に家族介護教室を開催。
- ・西部地域支え合い協議会主催の茶話やかサロン再開支援（医師会、健康長寿課、福祉用具業者、地域包括支援センター合同で健康イベント実施）し介護予防事業等周知活動を実施。
- ・すねおり地域支え合い協議会朝市にて防災訓練に1回/年参加。
- ・地域課題の把握、問題解決踏まえた西部地域支え合い協議会と西市民センター主催による地域会議に2回/年参加。民生委員、自治会長、小中学校教職員、多世代地域住民の方、地域包括支援センター職員にてグループワーク実施。



65歳以上の高齢者人口、高齢化率

【令和5年10月1日】



地域包括支援センター
かんえつ
※西部地区を担当



地域包括支援センター
いちばんぼし
※北部地区を担当

地域包括支援センター
ぺんぎん
※東部地区を担当

地域包括支援センター
いきいき
※南部地区を担当

7月杉下朝市→

結桜まつり↓



（高齢者人口：6,331人 高齢化率：29.3%）

- ・地域の集いの場、運動の場として第2・4金曜日に元気あつぷ体操を実施（要予約）
- ・中央地域支え合い協議会主催の朝市（第4土曜日）に参加し相談、包括支援センターの啓蒙を実施
- ・デイサービスベルグルー主催のオレンジカフェ「くれよん」（第2火曜日）に参加
- ・地域住民や老人会の要請で出前講座を開催



（高齢者人口：3,534人 高齢化率：32.9%）

- ・情報発信と啓蒙活動のため広報誌「みんないきいき」を年4回発行 包括いきいき公式LINEを開設し、適宜情報発信を行う
- ・介護予防や介護相談に応じるため、地域の加や出前講座へ参加
- ・地域の方の集いの場として「にこまるサリヤ」を毎月開催
- ・地域支え合い協議会定例連絡会に出席し、情報共有と連携
- ・地域との連携を目的に地区の避難所設置訓練に参加、協力
- ・孤立解消や引きこもり支援、多世代交流を目的に「園芸教室」を年2回開催
- ・介護者家族や地域住民を対象に家族介護教室を開催
- ・認知症の理解啓蒙を目的にマリーゴールドの花を育てて配布「～笑顔つながる♪ 外～いきいきオレンジフラワー」を展開
- ・外出困難な方や介護にお困りの方に向け「出張相談会」を開催
- ・地域での認知症理解啓蒙を目的とした認知症サポーター養成講座で講話



（高齢者人口：5,381人 高齢化率：29.8%）

- ・地域住民や高齢者の活動の場を把握し、地域包括支援センターのことを周知・啓蒙するため、サロン及び地域団体の活動や介護予防教室に参加。
- ・また、広報活動のため、その様子を包括だより掲載。
- ・サロン参加者の介護予防のため、体操や脳トレ等の出前講座を実施（その中の一つは、健康長寿課と協力しフレイルチェック実施、フレイル予防についての講話を行った）
- ・地域住民、高齢者に向けて健康増進や介護予防のため、4月東市民センターでの結桜まつりに参加、健康長寿課と協力しフレイルチェック、相談コーナーを開催。
- ・杉下地域支え合い協議会主催の朝市において相談コーナーを（1月を除く）月1回定期開催。（7月は坂戸鶴ヶ島歯科医師会・歯科衛生士の協力により歯とお口の健康相談を同時開催）
- ・独居高齢者の要望実現と他者交流や外出の機会のため英語学習の場としてサロン『ハッピーぺんぎん』月1回開催。『折り紙サロン』（12月～開始、不定期）